

3-5 宮城県沖周辺で起きた地震のえりもでの歪み地震動

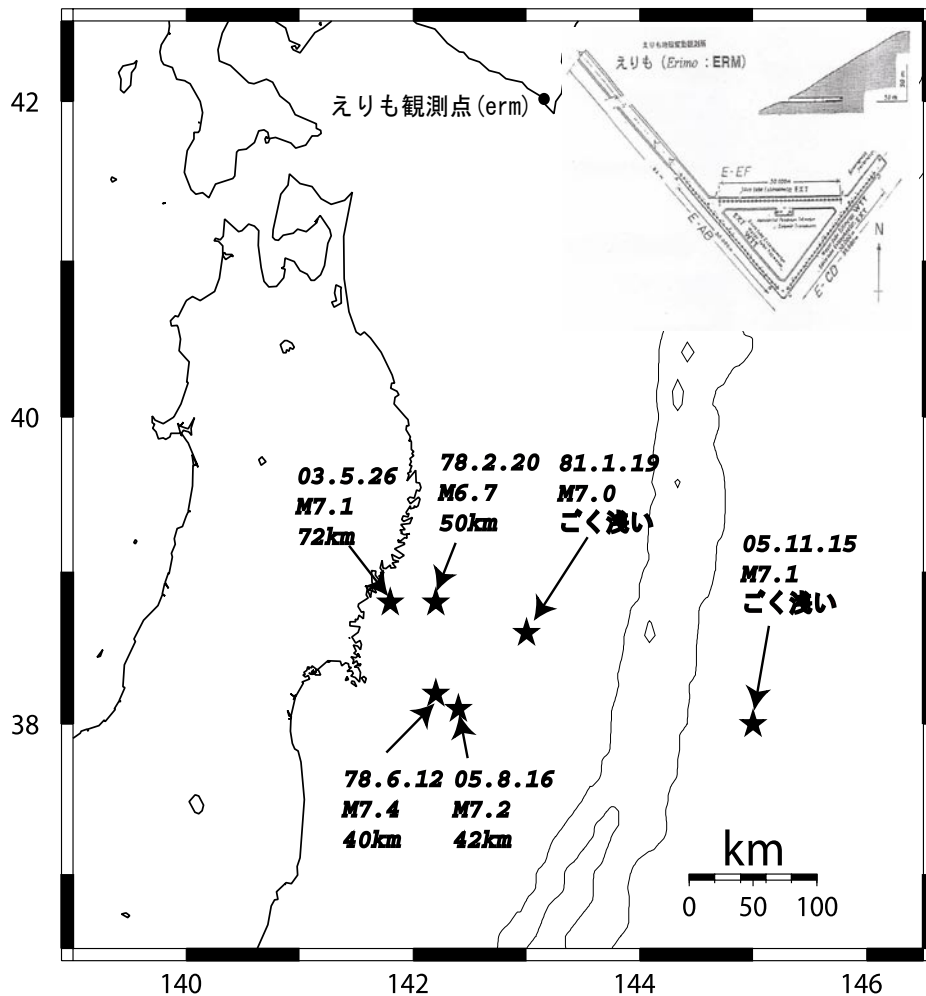
Comparison of seismic waves generated by several Miyagi-oki earthquakes observed by strainmeters at Erimo

北海道大学理学研究科附属地震火山研究観測センター
Institute of Seismology and Volcanology Graduate School of Science, Hokkaido University

第1図に今回の地震とその周辺で発生した地震の震央分布とえりも地殻変動観測所の位置および、その観測抗の形状を示す。今回の地震は海溝の外側で起きた正断層型の地震であったが、その西側に位置する宮城県沖の一連地震との歪み地震動の比較を紹介する。

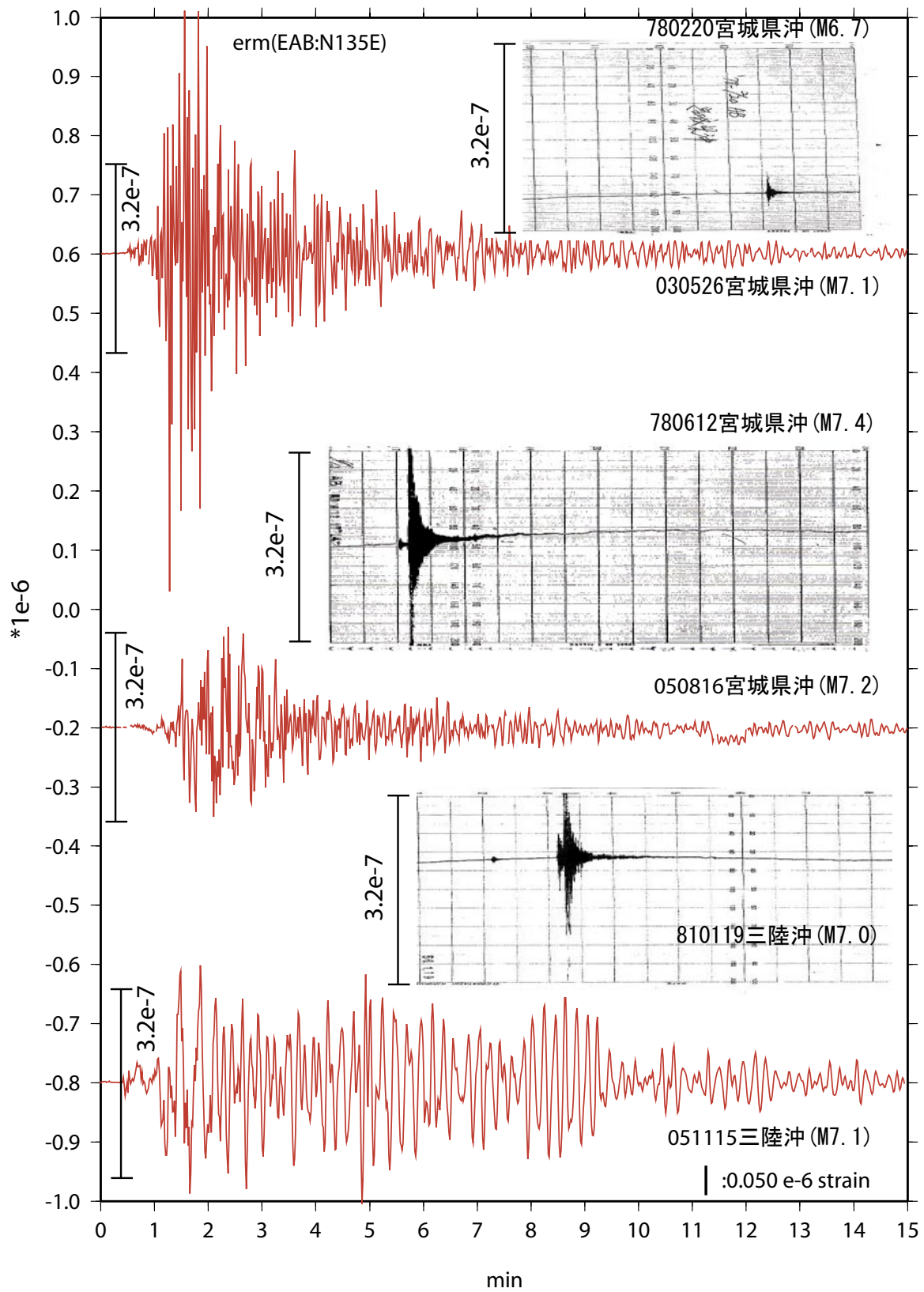
第2～4図 3成分水晶管伸縮計(30m)の1Hzサンプリングの15分間の記録と、78年、81年当時の送り速度25mm/hのアナログ連続記録を併記してある。縦軸のスケールは、すべて同じにしてある。今回の地震が長周期で、継続時間が長いのが特徴である。

震央分布

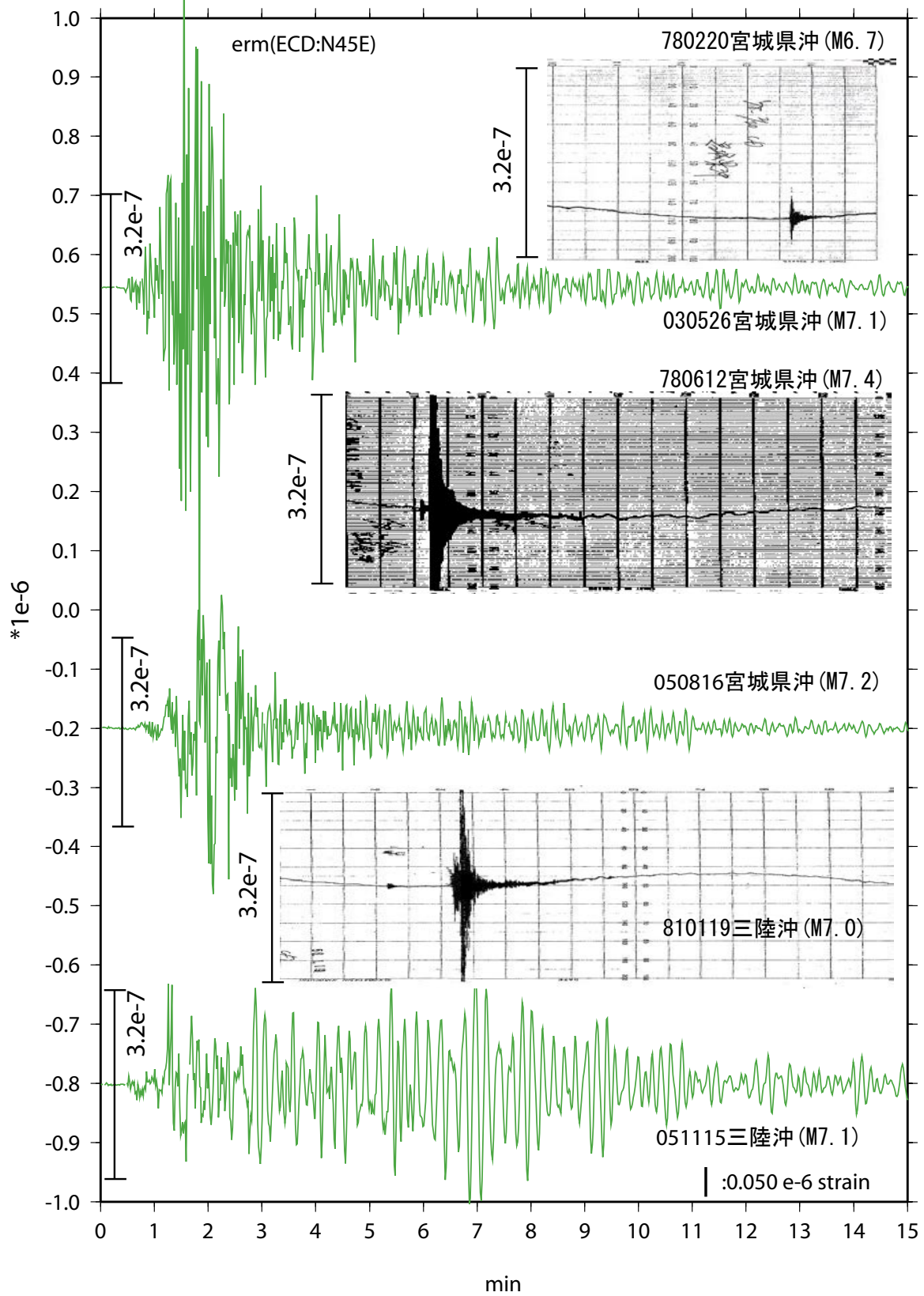


第1図 震央分布

Fig.1 epicentral distribution

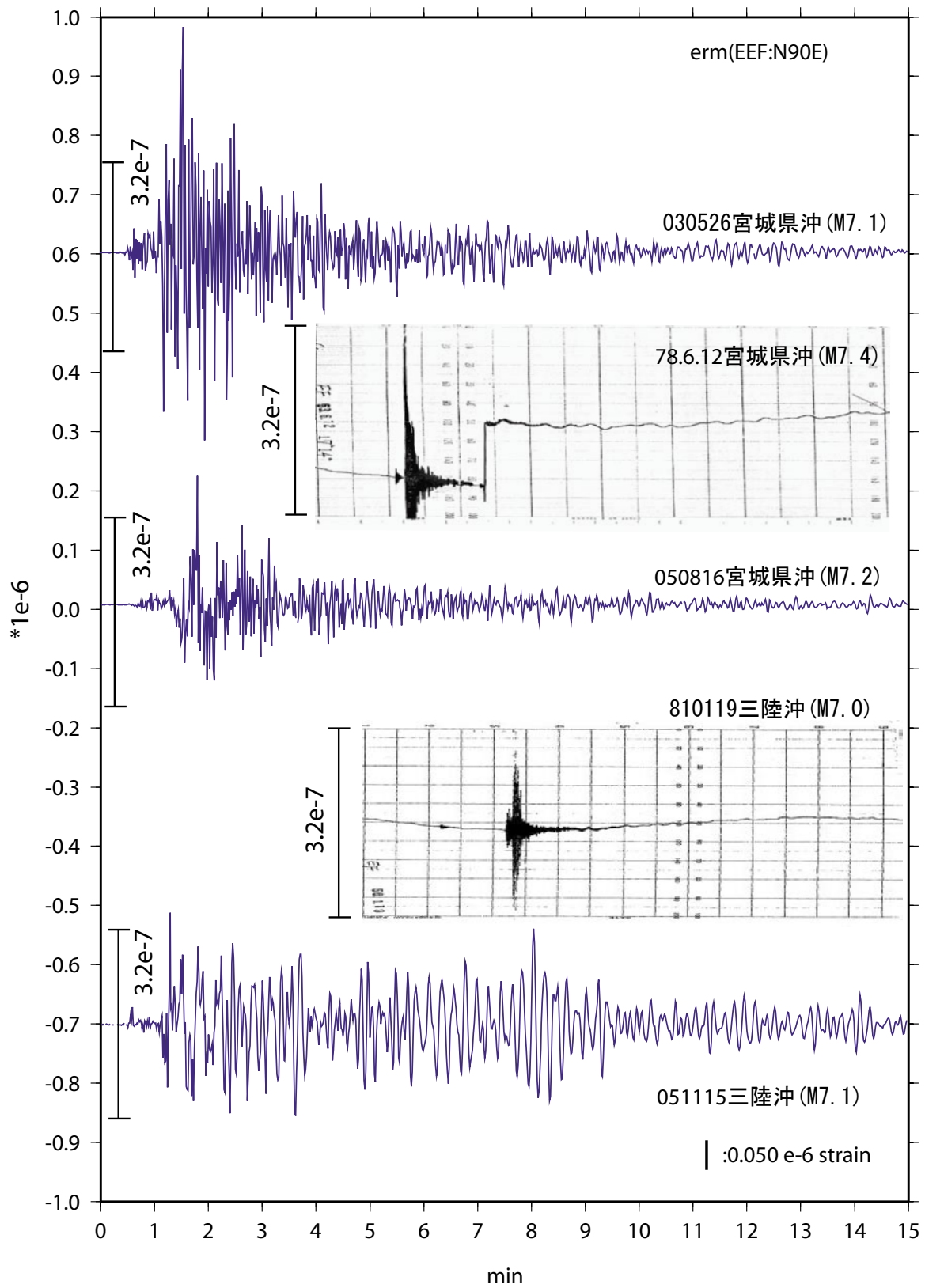


第2図 ermEAB 成分の比較
 Fig.2 Comparison of the ermEAB components



第3図 ermECD 成分の比較

Fig.3 Comparison of ermECD components



第4図 ermEEF 成分の比較
 Fig.4 Comparison of ermEEF components